



IMAGINE
ROTARY

Rotary
RID2780



Rotary International District 2780

ガバナー一月信

2022年
8月号 No.2

取り戻そう! 記憶に残る年にしよう!



横須賀北RC



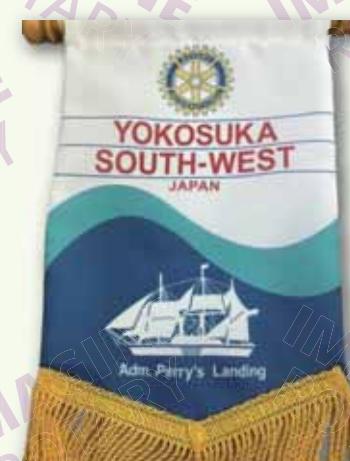
横須賀RC



三浦RC



横須賀西RC



横須賀南西RC

2022-23年度国際ロータリー第2780地区ガバナー

佐藤 祐一郎

クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2022～23年度ガバナー

佐藤 祐一郎

(津久井中央RC)



新年度が始まり一月が経過いたしました。すでにクラブの公式訪問も始まっております。各クラブにおかれましては着々と年度の目標に向かって活動を開始されていることと拝察いたします。

2022年の規定審議会ではローターアクトクラブがロータリークラブとほぼ同様の位置付けになったことや、衛星クラブ会員が一つのスポンサークラブのみの会員である必要がなくなったり、クラブ会員がクラブの所在地に住居、事業所を有するという要件が廃止されるなどの案件が採択されました。標準クラブ定款や推奨クラブ細則が、どのような文面になるかは後日発表になりますが、すでに7月から実効されています。邦訳の発表があり次第、クラブの定款、細則を見直す必要があります。昨今のクラブの柔軟性に向かういくつかの規定審議会の採択は、例外規定を認めるという文面になっており、クラブの独自性を担保している点においては、判断はクラブに委ねられていると言えるでしょう。クラブでの充分な検討が必要です。

さて8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。過去の統計では例外なく6月末の退会者数は年間を通して一番多く、7月新会員入会が一番という結果になっております。6月末の確定人数はまだ出ておりませんが、7月から5人の新会員を迎えたというクラブからの発信もあ

りました。「取り戻そう！」のひとつは、失った会員数ということになるのかも知れませんが、クラブによって目標、あるいは最適と考える会員数は異なると思います。地区の増強目標人数は敢えて作らず、各クラブの目標人数のみといたしましたので、クラブの取り組みに期待する所です。

嬉しいお知らせがあります。COVID-19の影響で長らく足踏みを続けていましたが、万全の準備の上、満を持して7月に設立総会開催に至った新クラブが第5グループに誕生いたします。また新しい仲間が増えます。

「増強は奉仕だ！」と言った先輩がありました。「私たちがロータリーの理念に共鳴し、誇りを持ち、その活動から喜びを得ているとしたら、親しい友人や知人に分かち合ってもらうために入会を勧めるのは、その友人や知人に対しての奉仕にほかならない。さらにクラブにとって仲間が増えるのはクラブの仲間への奉仕である。共に奉仕活動をする仲間が増えることは最も効果的な奉仕活動だ」という訳です。

ロータリーの目標に向かってスクラムを組む仲間を増やしましょう！

症状は軽度という話もありますが、新型コロナ感染者が増えているようです。充分お気をつけ頂き、楽しく活動して頂けるよう祈念しております。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間テーマについて	3

委員長挨拶	4
クラブ紹介（第1グループ）	12
新会員紹介	14

『月間に因んで』



地区会員増強委員会

委員長 岩澤 あゆみ
(茅ヶ崎RC)

「これからのクラブの未来を ソウゾウ（創造・想像）する」

ジェニファー・ジョーンズRI会長は言います。
ロータリーとは、

- ・ワクワクする場所
- ・みんなが集まりたい場所
- ・感動を与えてくれる場所
- ・何でも出来るように感じる場所

大切なのは、会員にとっての心地よさと配慮であると。会員がロータリーでどんな経験を求めているか。果たしがいのある責任を会員に与えることが出来ているかと。

コロナ禍でもロータリーの仲間になってくれた多くの会員がいます。今できることを一生懸命やろうと取り組んだ結果、新しい奉仕や親睦のカタチをつけたクラブがあります。会員増強・維持に成功しているクラブには共通したポイントがあります。

【会員増強のためのレシピ】

みなさんのクラブにはどのような材料（会員・奉仕・親睦）があり、どのような料理（クラブ・ロータリー）を作ることが出来るでしょうか。色々な材料があつていい。色々な料理があつていい。でも、出来る事ならこだわり抜いた材料で、腕を磨いたシェフ（リーダー）たちに作られた料理で心を躍らせたい。そんな風に会員増強維持を難しく考えずに、ワクワクするようなテーマにして、クラブで話し合ってみませんか？

- ①クラブの長所（材料）をリストにしよう
- ②入会候補者をリストにしよう
- ③得意料理（クラブの強み）を知ろう
- ④若い会員のフレッシュな意見を求めよう
←新会員への研修やインタビュー
- ⑤多様性を受け入れよう
←DEI
- ⑥5年後、10年後、どんなレストラン（クラブ）

にしたいかソウゾウしよう

←クラブの未来計画（戦略計画）

⑦より多くの方にレストラン（クラブ）の存在を

知っていただきファン（会員）を増やそう！

←公共イメージ・オープン例会の実施

今年はオープン例会（ゲスト候補者（元会員や一度辞退されている方も含む）を一斉に集めて公開例会を実施する取組み）を推奨しています。昨年度、他地区が実施し、なんと、1クラブ平均2.5名入会した実績があります。ぜひ、皆さんのクラブでもトライしてみませんか？

【オープン例会成功の秘訣】

- ①計画（日時・会場・卓話者・料理・配布物・次第）
←ロータリーの友を差し上げるのもお勧め！
- ②お誘い（口頭・お誘いメール・招待状）
- ③歓迎（笑顔・お名前で呼ぶ・おもてなし）
←いらっしゃるゲストにはクラブ全員でおもてなし。年齢や職業、出身地など当日の座席決めの参考に！
- ④フォロー（お礼状・写真送付）

WITHコロナの時代になり、様々なクラブのお声を聞く中で、クラブ毎の状況や課題は実に多様になっていることを痛感します。すべてのクラブが一つの方法（レシピ）で成功するなんてことはありません。クラブによって、今の優先事項は増強よりも維持である場合もあれば、とにかく増強しなければというクラブもあります。地区の委員会ではクラブごとのニーズに合わせた内容で資料を作成し、年間を通じて卓話の実施をしています。新会員のインタビューや親睦会も行います。どうぞ地区の委員会をフルに活用して下さい。

もうコロナによる制約には疲れちゃいましたね。今年は取り戻しましょう！情熱も活動も、会員数も！これからのクラブ・会員・ロータリーをソウゾウ（創造・創造）し、忘れられない1年に！

IMAGINE ROTARY!

地区戦略計画委員会

委員長 田島 透 (ふじさわ湘南RC)

ロータリーは時代の変化に対応しながら絶えず進化を続けています。今日、国際紛争、新型コロナ禍など社会・経済状況は大きく変化しています。R I はロータリーが抱える課題として女子のエンパワメント・D E I (多様性、公平さ・インクルージョン)への対応などを掲げられ、それら要求に柔軟に対応しなければなりません。



そこで、R I とロータリー財団は2019年7月に新しいビジョンをスタートさせました。その目的は「組織を強化し、ロータリーの価値観を守り、これからも長期的に繁栄していくため、未来の方向性を定める」とされています。

それをもとに、当地区では2019年の地区大会で地区ビジョンが制定されました。「私たちは、地域社会の変化とニーズを捉え、地域社会にインパクトをもたらし、多様な人々との出会いとつながりを活かして、良い奉仕を実践するために積極的行動します」です。

この地区ビジョン実現に向けて4つの地区優先事項を掲げさせていただいている。その優先事項より具体的な目標として行動目標を策定しています。地区はこのビジョンの下で各計画を実行しています。地区ではこのビジョン、行動計画、行動目標をクラブの皆さんと共に共有し、クラブの特性を踏まえ、クラブレベルでのビジョンと行動目標を作成すること奨励させていただきます。

地区研修委員会

委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

『ロータリーを
もっと楽しむために!』
ジェニファー・ジョーンズ
「イマジンロータリー」
佐藤祐一郎ガバナー
「知之者 不如好之者
好之者 不如樂之者」



両者とも素晴らしい言葉です。“知ることも良いが、好きになる事だ。好きであることも良いが、楽しいことが一番だ。”そして楽しいロータリーライフを送りながら、楽しい社会を想像し、奉仕活動に励もうではありませんか。エンジョイ・ロータリー、エンジョイ・ライフを実践しましょう。

今年度の地区研修委員会はこの様な気持ちで研修を受ける方々も、委員会の方々も皆がロータリーをもっと良く知り、もっとロータリーを好きになって、ロータリーを楽しんで頂く様に、皆様のご協力を仰ぎたいと存じます。

具体的には次年度ガバナー補佐エレクト研修・地区チーム研修セミナー・PETS・地区研修・協議会を計画します。その他にも、地区指導者育成セミナー、ロータークト指導者育成セミナー、地区ロータリー財団セミナー、地区会員増強セミナーなど佐藤ガバナーに協力し、ガバナーの要望にも応え、今年度を成功に導く支援をすると同時に、次年度の準備をして行くという重要な委員会です。クラブ活性化ワークショップも順次採用して行く様にいたします。

今年度はロータリーの大河の様な流れの中で、各プロジェクトがその中の一つの役割であることを実感できるようにストーリー性を考えてみたいと思っているところです。ロータリーの中核的価値感を皆様と共にさらに研究を重ね、議論をして行く様にします。どうぞよろしくお願い致します。

地区危機管理委員会

委員長 石田 隆 (逗子RC)

危機管理には、事後処理の Crisis Management と予防措置の Risk Management があります。今までロータリーでは主に Crisis Management の対処を検討してきましたが、時代の変化もありそれでは不十分と言われています。今後は危機が発生する前に、それを回避するあるいは被害を最小限に抑えるため、様々な対策を検討する Risk Management が必要になります。日本における危機と言えば先ず自然災害（地震、津波、台風、大雨、洪水など）、パンデミック（ウィルス性感染症の世界的大流行）、ハラスメント、個人情報保護、サイバー攻撃・情報操作などが考え



られます。これらの危機をタイムリーにとらえ対応して参ります。危機管理に関しては、ロータリーは例外ではなく危機は必ず起こると認識して、予兆を捉え予防に徹することです。また様々な相談に対応可能な危機管理相談窓口の設置を検討したいと思います。今年度は、ロータリアンの皆様に危機管理を深くご理解いただけるよう活動してまいります。宜しくお願い致します。

姉妹地区委員会

委員長 佐野 英之 (秦野RC)

一向に収まらないコロナ禍の下で、お互いの更なる友情を築く地区大会も本年度で延期と成るのか不安の三年目を迎えるとしております。今年こそは再開出来る事を願い、期待と不安の中、私達委員会一同新たな気持ちで委員会の目標に向かって全員一丸と成って頑張る所存ですので、皆様方の絶大なる御理解、御協力協を宜しくお願い致します。又、第3662地区は本年度初の女性ガバナーを輩出し、女性からの見た目で新たなる分野へ開拓するものと期待して共に頑張りたいと思っております。

さて、RIが推奨する国際奉仕の目的に記載されております様に、其の主旨に基づき、当委員会として本年度も両地区女性会員同士の友情の「絆」を基に更に突き進んで行こうと思っております。その一つとしてお互いの国同士の伝統文化を知る為に、例えば、キムチ教室、お茶の御点前教室や和服の着付け等考えております。又、両国親善中学生交流会の企画なども考慮中です。

最期に、本年度、10月には当第2780地区、来年5月には第3662地区大会が開催される予定です。次年度には是非皆様、相互の地区大会の中での親善交流会には一人でも多くの皆さんへの参加を期待しております。

以上本年度の活動に対して皆様の御協力をお願い申し上げます。



地区ホームページ委員会

委員長 小野 良太郎 (秦野中RC)

『活動イメージを

膨らませるサポートを』



本年度RI会長は「イマジン ロータリー」をテーマに、多様性、公平さ、インクルージョンを率先して実現する必要性を、また佐藤ガバナーは「取り戻そう!」、「記憶に残る年にしよう!」を掲げられています。どちらも行動が必要となります。HP委員会ではその行動イメージを膨らませるサポートができればと考えております。昨年度より目指してきた動的なHPをさらに活性化できるよう、クラブ活動アップを促してまいります。地区的事業も活動報告により、参加できなかった会員とも情報共有できるようになります。またボリオ現況や米山情報等も必要に応じてアップし、最新情報を地区内で共有できる体制を目指します。それにより、各クラブが行動する際のヒントが得られ、活動イメージを膨らませることができるようになればと、思っております。その他も会員皆様のお役に立てるHPを目指し、委員会で議論し、アップデートを重ねてまいります。

1年間よろしくお願い申し上げます。

ロータリーの友地区代表委員

端山 創之 (藤沢西RC)

『ロータリーの友を

ご活用下さい』



「ロータリーの友」は国際ロータリーの動静を知り、国内地区や各地のクラブの活動に触れる事により奉仕のアイデアを見つける効果があります。本年度1月号で、「ロータリーの友」は創刊70周年を迎えます。ウェブサイトにはアーカイブ機能を載せ、過去の「ロータリーの友」をデータ化し様々な検索を可能としました。先達がロータリー活動に寄せた思いを学び、活動が生み出した成果を知ることが出来る貴重な財産です。皆様が様々な場面で「ロータリーの友」をリソースとしてご活用いただければと思

委員長挨拶

ます。また地区、各クラブや皆様からの情報をより多く集め、ご意見、ご感想をお聞きし、ロータリーの友委員会に届け、より良い「ロータリーの友」となりますよう全力で取り組んでまいります。皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

地区クラブ管理運営委員会

委員長 辻 彰彦 (大和中RC)

『記憶に残る年度の実現』

本年度、佐藤ガバナーは、クラブにとって印象的で記憶に残る年度の実現を目指すこと。

そして、ロータリーはクラブが原点であり、ひとり一人の会員が大切であることを強調されております。もっと学び、それぞれの能力を活かし、クラブの力を合わせてイメージした世界の実現を地区方針に掲げられました。

クラブ管理運営委員会の役割は、クラブの効果的な運営のために活動することで、クラブが効果的に運営されてはじめて、地域社会に奉仕し、会員を維持できるのではないかでしょうか。

そこで当委員会では、クラブに寄り添う姿勢を大切にし、各クラブが抱える悩みや疑問に対して共に考え、解決していくことでクラブの活性化を演出したいと考えます。

また、委員会内には、親睦活動担当、ICT推進担当、クラブ支援担当及び規定審議会担当という4部門が存在し、それぞれが有機的に機能して各クラブの支援に取り組んで参ります。

今なお、新型コロナウイルス感染症の影響受け、あらゆる活動に支障が生じている状況下においてロータリーライフを楽しんで頂けるように英知を結集し、元気なクラブづくりを目指したいと考えます。

一年間、よろしくお願い致します。



地区公共イメージ委員会

委員長 大川 久弥 (小田原城北RC)

『レッツイイネで公共イメージと認知度の向上』



コロナ禍が始まり2年以上が過ぎましたが、この間我々はコロナを恐れるのではなく、コロナとうまく付き合いながら奉仕活動を実践できる術を身に着けてきたと思います。

今年度、佐藤ガバナーはロータリーはクラブが基本との想いで、奉仕活動もクラブの自主性に委ねようとしています。これは意欲的なクラブにとっては願ってもないチャンスです。

私共委員会では今年度もSNSを通じて各クラブの奉仕活動を外部へ積極的に発信してまいります。単にロータリーの名前を知ってもらうだけではなく、ロータリーが地域社会でどのような活動をし、どれだけのインパクトをもたらしているかに重点を置いて発信します。街頭募金活動で立てられているロータリーの幟、清掃活動では揃いのロゴ入りTシャツなど、ロータリーのロゴが行動人の象徴として人々に認知されるよう、ブランディングを推進してまいります。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

オンツー・メルボルン国際大会委員会

委員長 田島 敏久 (相模原西RC)

『イマジン ロータリー イマジン メルボルン イマジン ネクスト』



ヒューストン世界大会の感動は、ウクライナ国旗入場！ロータリアン全員が立ち拍手の渦、まさにロータリーここにありました。

2023年度の世界大会は5月28日から31日です。オーストラリア・ビクトリア州の州都メルボルンで開催されます。メルボルンでの世界大会の開催は2回目です。この時期は日本との時差は1時間です。南半球に位置する為に日本より1時間早いです。気候は秋から冬になります。平均気温は13度。

オーストラリア大陸の南東部に位置し、ポート・フィッリップ湾に面し、ヤラ川河口のメルボルンは世界で住みたい都市で第4位です。グレート・オーシャンロードは世界一美しい海岸線です。セントキルダ・ビーチも一番人気のスポットです。ペンギンがよちよち歩きするフィッリップ島。

ショッピングといえば、街の市内中心部には芸術的なブロック・アーケード商業施設あり、ロイヤル・アーケードは歴史的美しさを備えています。ビクトリア・マーケットは広々としてお買い物し易そうです。コーヒーやグルメもお勧め。ワインは北東に位置するヤラ・バレーあり。

イマジン・メルボルン・ネクストの感動を実現しましょう！

さあ！素晴らしいメルボルン国際大会に参加しましょう！

地区会員増強委員会

委員長 岩澤 あゆみ (茅ヶ崎RC)

『これからのクラブをソウゾウ
(創造・想像) しよう！』

ロータリーを通じて、世のため人のために奉仕が出来る場所。自分が成長できる場所。自分の可能性を広げてくれる場所。生涯の友に出会える場所。ロータリーと出会えたことで、自分の人生が豊かなものになつたと実感できる場所。みなさんのクラブはどうですか？みなさん自身、このように感じることが出来ていますか？きっと、時代がどう変わろうとも、クラブや会員にとって大切な価値観は不变のものではないかと思います。コロナウィルスへの配慮が欠かせない日々となり、すでに数年が経ちました。これからのクラブをIMAGINE (ソウゾウ) しましょう。会員増強と会員維持は常に両輪です。クラブのお役に少しでも立てるよう、昨年度に続き、増強維持の両輪にアプローチした活動を委員会一丸で実施します。

- ・年間を通じてクラブに寄り添った卓話
- ・新会員の声に耳を傾けるインタビュー
- ・新たな出会いをもたらす新会員親睦会
- ・オープン例会の推奨、増強セミナーの開催



地区職業奉仕委員会

委員長 生駒 秀之 (綾瀬RC)

2022-23年度職業奉仕委員会委員長の生駒です。本年度は、「職業奉仕」は単独委員会となりました。佐藤ガバナーの職業奉仕に対する思い、位置づけの期待に沿えるよう務める所存です。職業奉仕は、先の地区協議会でもアンケート実施し、「理解が難しい」、「上手く説明できない」「実践？」…このような回答が参加の皆さんより多くありました。



哲学的に「倫理」を講じる事や「優しくわかりやすく」伝える事など委員会の中で検討して卓話原稿の制作を行う予定です。委員会の主な活動は、クラブ訪問卓話です。「職業奉仕月間」を中心出来る限り、多くのクラブからの依頼に応え活動します。

「取り戻す」と言う、ガバナーの方針を多くの会員へ伝えていきたいと思っています。

また、新世代との「職業奉仕について」の研修やフォーラムなどを開催したいと思っています。今後のコロナ感染状況や他委員会との協議にはなりますが、実施できるよう計画を進めて行きたいと思っています。

地区社会・国際奉仕委員会

委員長 山口 俊明 (藤沢東RC)

『クラブ社会・国際奉仕委員会
へのリソースの提供』



今年度は地区社会奉仕委員会と地区国際奉仕委員会が一つになり地区社会・国際奉仕委員会として活動することになりました。各ロータリークラブが地域に住む人々のニーズを汲み上げ地域の協力を得ながらプロジェクトを遂行出来るように支援していきます。国際奉仕活動も社会奉仕が基本であり、国外だけでなく、国内で必要とされている国際奉仕も視野に入れ取り組んでいけるよう情報提供してまいります。又委員会内にはカテゴリーごとにワーキンググループ『社会・国際奉仕参加推進、リソースネットワーク、IT広報、地区社会・国際奉仕委員長研修、など』を設け、委員会の役割を担うにあたり、地区社会・国際奉仕委員会の責任を果たし、積極的に活

委員長挨拶

動を行い記憶に残る充実した地区社会・国際奉仕委員会にしたいと存じます。

メインの行事としてはクラブ社会・国際奉仕委員長研修会を12月10日(土)に予定しております。一年間よろしくお願い申し上げます。

地区青少年奉仕委員会

委員長 岡田 英城 (横須賀RC)

『青少年奉仕活動で
私たちも成長』

青少年奉仕委員長として、インターラクト委員会、青少年交換委員会、RYLA委員会を担当させていただきます。

私たちロータリアンは、クラブ活動の土台となる五大奉仕を通じて地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。青少年奉仕は五大奉仕の第五部門として位置づけられております。



インターラクト、青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、また各クラブが実践されている青少年奉仕活動を通じ、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるように支援をしています。第2780地区内各クラブの青少年奉仕活動について様々な課題・取り組みなどを共有化させていただき、全体で青少年奉仕活動が出来るよう取り組んでいきたいと考えております。そして私たちの行動が、私たちが係わるすべての青少年のリーダーシップ能力の育成・成長にかかり、そしてそのことで私たち自身も成長していきたいと考えております。

インターラクト委員会

委員長 林 雅巳 (鎌倉RC)

『Diversity & Integrity』

インターラクターとロータリアンの組み合わせは多様性が高くなります。このおかげで関わる全ての人がその活動を通じて、多くの気づきを得られる事業を運営してきました。ところがここ数年、COVID-19の影響によって人的交流が少ない状況が続いた影響でこうした気づきを得られる機会が減ってしまいました。



「Withコロナ」で環境変化については予断を許さない状況ではありますが、IACの4大継続事業(新世代交流会、年次大会、海外研修、一泊研修)や、毎月開催していたアクターズミーティングの再開に向けて準備を進めてまいります。また、青少年奉仕委員会を始めとする地区内の各委員会、海外研修の受け入れ先でもある台湾のD3481とも連携し、各事業の良い部分は活かしつつ、そこに新しい考え方も導入し変革を起こしていきたいと考えています。

我々はこうした活動を通じて、1人でも多くの青少年に高潔さを伝えていくミッションも持っていると考えます。事業開催に向けて制約が生じる可能性もありますが、このミッションを果たすための行動はアクターに必ず伝わると考えています。

どうぞ一年間ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

青少年交換委員会

委員長 新井 智代 (藤沢南RC)

『高校生の親善大使の活躍に
ご期待ください!』

本年度いよいよ青少年交換が再開いたします。「このプログラムは、青少年の国際理解と親善の精神を育み、平和の構築と維持に不可欠な異文化理解能力の養成に役立つものである (ロータリー章典より)」交換留学生として海外で1年間学ぶ学生は、単なる語学習得にとどまらず親善大使として活動し、互いの国の文化や習慣の違いを受け入れることで未来の平和を支える人材に育っていきます。第2780地区では11月に9か国へ向けての派遣生9名の選考を予定しております。また来年夏に来日する海外からの学生の受け入れ準備も始まります。コロナの影響で2020年に学生の早期帰国が余儀なくされてから2年間、プログラムは完全に止まっておりましたので、再開にむけては各クラブの皆様へ御理解を丁寧にお願いして参りたいと思います。ご協力の程を何卒よろしくお願い申し上げます。



RYLA委員会

委員長 清水 寿人 (相模原柴胡RC)

『3度目の正直』

2年間コロナという言い訳で RYLA研修を開催せずに3年目の委員長を仰せつかりました清水です。今年度は来年の5月に開催をする予定であります。委員会メンバーに残念な思いをさせるのは去年まで今年は実らせます。RYLAは地元地域やその範囲を超えて活躍できる若き有能なリーダーを指導する機会です。そのロータリアンの役割は職場や地域社会のリーダーとなる道を開くために若者達を導くことです。一方で地区にとっては新たな活力とアイデアがもたらされ、将来のロータリアンを育成できるという恩恵があります。1959年オーストラリアから始まったRYLAプログラムが日本では1976年に初めて開催されました。当地区は約20年このプログラムを開催されておりません。再開に向けて委員会開設を望まれた2人のバストガバナーの思いも込めてメンバー一丸となって「3度目の正直」をクリアする所存です。皆様のご理解とご協力お願い致します。



R Iへの会費支払義務も発生いたしますが、同時に地区補助金・グローバル補助金事業への参加も可能となります（一部条件アリ）

若い世代が集うローターアクトクラブが企画運営する奉仕活動が増えることを考慮して、地区内各ローターアクトクラブの自立（自律）支援も含め、1年間サポートいたします。

地区ロータリー財団委員会

委員長 大谷 新一郎 (相模原南RC)

今年度も引き続き財団委員長を務めます大谷です。



コロナの影響で苦しめられてきた2年間を今年度、財団委員会はしっかりと取り戻していきます。以下今年度の抱負を記します。

1) 寄付目標に向かって各クラブへのサポート。

財団月間と限らずクラブ卓話に寄付する喜びと感動を強く訴え、ゼロクラブはゼロはもとより、ゼロ寄付会員ゼロを目指し推進していきたいと思います。

2) 地区補助金の最大限の活用と推進。

地区補助金を使用しての奉仕活動は、クラブ活性化への大きな柱となります。各クラブの補助金利用の参加を強力に要請する。

3) 奨学生（地区補助金・グローバル補助金）へのサポート。

コロナ禍・ウクライナ侵攻等、留学を阻害する状況に対し、ベストな方法へのサポートを推進する。

4委員会一丸となって財団委員会活動を行ってまいります。

一年間宜しくお願いします。

財団補助金委員会

委員長 中村 真英 (伊勢原平成RC)

『地域に価値ある

奉仕に補助金を』



補助金委員会の役割は、地区補助金要項作成（補助金ルール）と各委員会と連携を取りながら、地区ロータリー財団を支えていきます。

委員長挨拶

今年度は財団寄付年次基金の目標達成（200\$）の為に各クラブに卓話に積極的に訪問して活動資金の理解を深めて頂きたいと思います。

ウクライナ紛争が長期化になりそうです。ロータリー財団で支援出来るかどうか情報収集していき柔軟に対応したいと思います。またコロナウィルスの影響で奉仕プロジェクトが出来なくなったクラブが多く有りました。地区補助金の今年度実施の追加募集を検討していきたいです。

各クラブの皆様には、まずはロータリー財団寄付の理解をしていただき、そして補助金を活用して地域に価値ある奉仕をして、クラブ活性化につなげていただければと思います。

ロータリー財団はちょっと難しいと思われるクラブは、卓話に呼んでください。テーマに沿って伺います。宜しくお願ひ致します。

補助金配分・VTT委員会

委員長 柴田 直明（小田原北RC）

『素晴らしい奉仕事業のために』

今年度は沢山の補助金の申請を受けたいと思っております。今迄はコロナ感染拡大の中で、マスクを寄贈するなど、その時状況では必要なものではありましたが、このところの申請では寄贈案件が多くなっております。寄贈ありきの事業は制約事項に抵触します。コンサートも、文化的イベントも、チケット入場料購入も、必要な広報とはボランティア募集などで、事業の宣伝広告費も、全て制約事項に抵触します。これらが把握されていないのは補助金説明会にあると思い、今年度は当委員会で特に強調するところを抜粋した補助金説明会にしたいと思っております。そしてロータリアンが積極的に参加する素晴らしい奉仕事業になり、補助金を満額受給していただける様に応援して行くのが当委員会です。また財団の卓話にお伺いした時には、補助金の財源も金額も年次寄付が大きく関わる事を理解してもらい、佐藤ガバナーが目指す一人当たり200ドルが達成出来るように頑張ります。



補助金管理委員会

委員長 坂根 隆志（ふじさわ湘南RC）

『管理を通して奉仕のお手伝い』

数年前にクラブ幹事のとき、初めて自クラブで地区補助金を申請し、小学生を対象にした新しい奉仕事業を行ないました。金額は30万円ほどでしたが、その後、数年間継続事業としてクラブに根付き、少なからずクラブの活性に寄与できたと思います。参加してくれた子どもたちやその家族の方々に何らかの影響もあったと信じています。



補助金管理委員会は、名前のとおり管理部門の委員会ですが、完了報告書の精査だけでなく、支給が決まったクラブにその補助金事業の終了までの間、質問をお受けしたり、助言をさせていただくこともあります。奉仕事業のお手伝いをさせていただくイメージで務めさせていただいている。私が財団委員会の小委員会に所属して6年目になりますが、他クラブの奉仕事業をお手伝いするのは、とてもやりがいがあります。昨今、コロナ禍のため、申請も減少傾向にあり、補助金事業の中止や縮小はやむを得ないと思いますが、本年度、補助金の支給が決まっている各クラブの事業が一つでも多く成功裏に終われるよう、当委員会で各クラブをサポートしたいと思います。

財団資金推進委員会

委員長 山田 修（相模原南RC）

『寄付金目標達成に向けて』

新型コロナウィルスにより、奉仕活動の自粛、例会中止など大きな影響を受けました。今年度はコロナ前の活動を取り戻す大切な年です。ロータリー財団について、すでに多くの会員の方がご存知の事と思います。一方で、入会間もない会員が多いクラブもございます。財団補助金の仕組みも毎年のように変化があります。



ご寄付をお願いする上で、財団への理解を深めて頂き、ご納得頂いた上でご寄付に協力して頂けるように推進していくのが当委員会の役割です。

地区目標は、年次基金1人200ドル以上、ポリオプラス1人40ドル以上、ベネファクター1クラブ1

名以上（恒久基金1000ドル以上）、ゼロクラブゼロの継続と例年通りです。

年次基金1人200ドル以上の目標達成まであと一步届かない状態が続いております。例年のご寄付に加えて1人20ドルを加えて頂ければ有難く存じます。

平和フェロー・奨学金委員会

委員長 福山 茂（相模原グリーンRC）

『多くの優秀な人材が皆様の寄付で世に出ています』

第2780地区平和フェロー・奨学金委員会は、3つの奨学金プログラム（平和フェロー奨学金・ロータリー奨学金・第2780地区ロータリー奨学金）を担当しております。

ロータリー財団は「世界で良いことをしよう」の理念の下、皆様の寄付で運営されています。その皆様からの寄付の一部が「人を育てるロータリー財団」の活動として、平和フェロー・ロータリー奨学生のための奨学金として活用されております。

財団奨学生は多くの優秀な人材が世界で活躍しております。そのことを広く会員の皆様にPRし、ご自身の寄付の重要さを実感していただける様努力いたします。

また今年度は3年ぶりに当地区担当の平和フェロー4人の来日が実現しそうです。これを機会に、RIでポリオ撲滅に次ぐ重要なプログラムであるにもかかわらず、まだ知名度の低いこの平和フェロープログラムについて、多くの皆様にご紹介したいと思います。



地区米山奨学委員会

委員長 三荒 弘道（平塚RC）

『日本と母国との懸け橋へ～学友からロータリアンへの道筋づくり～』

今年度地区米山奨学委員会委員長を務めます三荒弘道と申します。

地区内各クラブ会長、幹事、カウンセラー、及びクラブ米山関連委員会の皆様方におかれましては、米山奨学生・学友生への日頃のお力添えを厚く御礼申し上げます。



さて、地区米山委員会は昨年度の1つの大委員会、3つの委員会、計4委員会にて構成から、今年度は1委員会に集約されました。昨年度の田島ガバナー期には、コロナ禍を乗り越え「第1回米山指定校担当教諭との懇談会」「第2回米山学友会同窓会」が開催され、地区内米山の更なる前進がはかられました。今年度は佐藤ガバナーの方針を受け、通常の米山事業は固より、学友同窓会を基軸とした学友会の拡充、更には学友会からロータリアンを輩出する試みをはかって参ります。その為には地区内各クラブ会員お一人お一人の米山への寄付増進とともに、世話クラブ会長様・カウンセラー様をはじめ、地区内クラブ会員皆様方のご支援・ご協力が無ければ全てが成り立ちません。

今年度米山奨学委員会は地区内諸先輩が築かれてこられた米山のバトンをしっかりと受け、米山学生が将来日本と母国との懸け橋になるべく、米山奨学生・学友生に精一杯寄り添って参ります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますことを伏してお願い申し上げ、一言のご挨拶とさせて頂きます。

地区ポリオプラス委員会

委員長 笠間 治一郎（綾瀬春日RC）

『取り戻そう! END POLIO NOW』

今年度、地区ポリオプラス委員会の委員長を仰せつかりました笠間治一郎です。よろしくお願ひいたします。



ポリオ根絶はロータリーの最優先事項です。全世界でポリオ根絶を実現するため、ロータリーは毎年5000万ドルを拠出することを目標としています。この2年間のコロナ禍により、計画していた「END POLIO NOW」の募金活動も中止を余儀なくされたことが多くあつたと思いますが、今年度は、各クラブにおいて、ポリオ根絶がロータリーの最優先事項ということを認識していただき、ポリオ根絶の重要性を会員一人一人へ浸透ご理解いただくよう、また、「END POLIO NOW」の募金活動を各クラブ1回以上の実施をしていただき、そして一人40ドルの寄付をお願いしたいと思います。そのために委員会として何ができるかを検討し、各クラブのサポートしていく、活動支援をと考えています。

今が正念場です。あと2か国、何とかゼロにしたいところです。各クラブ、会員一人一人に「活動と寄附」のご協力をお願いいたします。

横須賀ロータリークラブ

会長 前田長生

横須賀ロータリークラブは当第2780地区で最大規模のクラブです。

会員数が多ければそれなりに運営面での苦労がありますが、会員数が多いことのメリットを生かして、当クラブならではの奉仕活動を展開していきたいと思っています。

今年度は明るく楽しいクラブづくりを目指して、毎週の例会で3役・SAAは揃いの蝶ネクタイ姿で会員を迎えてます。

120名ほどの会員数となると、相互理解を得るために多くの話し合う機会の提供も必要となります。クラブでは以前より会員数の増加に伴い顔もわからない名前も知らないという事の無いように、例会では全員を8テーブルに分けて、SAAが1テーブル15人前後の座席表を作成します。それを固定化しないように様々な分類基準で3か月に1度の入れ替えを行います。こうして1年間で一通りの会員と交流が持てるよう企画をします。テーブルは職業別であったり血液型別であったりと、工夫を凝らして席順を決めています。テーブル毎にテーブルミーティングと称して夜間の飲食会をもち、テーブルマスターとサブマスターによる会の進行で自己紹介から悩み事に至るまでいろいろな話で会が盛り上がります。



本年度クラブ3役とSAA



ある日のテーブルミーティング



横須賀ローターアクトクラブの例会

横須賀北ロータリークラブ

会長 武藤修儀

横須賀市北部に位置する当クラブは、東京湾に面したその地理的環境から、世界最高峰の海洋研究機関である海洋研究開発機構（JAMSTEC）や日産自動車・住友重機械工業をはじめとする企業が集う市内有力工業地帯にあります。



現在会員数は19名と少数ではありますが、会員自身の作詩作曲によるクラブ歌が代々引き継がれている特色あるクラブです。

各種募金活動や市民参加型の奉仕活動なども積極的に行い、国際交流としては友好クラブである韓国北大邱ロータリークラブと親交を通じ、共同奉仕活動も行って参りました。

近年ではコロナ禍による世情で、思い描く社会奉仕活動が行えない状況が続いていましたが、昨年度に創立60周年を迎えたことで会員一同さらなる決意を胸に、記念事業としての側面を持たせた新しい奉仕活動を計画中です。

また、地域との交流・親睦を深めるためのゴルフコンペの開催や、毎年7月に開催される「おっぱままつり」では、地域活性化の一環として地元商店会と協力した催し物を開催しています。



ポリオ撲滅募金運動



おっぱままつり かき氷ブース



創立60周年記念 横須賀スタジアム(追浜)

三浦ロータリークラブ

会長 奥山浩司

新年度のスタートにふさわしく、3名の新たな仲間が加わっていただきました。ここ数年会員が増え続け、クラブ内も活気つき、メンバーの奉仕や活動への意欲も高まってきています。これからも「会員増強」を強く意識して、三浦ロータリークラブの活動を理解し、賛同していただける同志を探し続けて参ります。夜間例会などで親睦を深め、参加したくなるような例会作りにも改めて挑戦していきます。

そして三浦ロータリークラブは、今年60周年を迎えます。60年という歴史あるロータリー活動を見つめ直し、クラブメンバー一丸で行動し、成し遂げ、「記憶に残る」年に作り上げていきたいと考えています。60周年を迎えるにあたり、改めて地元三浦に目を向けた事業に取り組み、三浦ロータリークラブの新たな継続事業となれるよう想像し、行動していきたいと思います。



集合写真



ジャガイモ堀例会

横須賀西ロータリークラブ

会長 和田光弘

横須賀西ロータリークラブは、1年延期の50周年記念チャリティーコンサートと記念式典を4月29日に無事に終え、新たな西ロータリークラブが始まりました。

30年以上の会員が2名、6月末をもって退会し、会員数も12名となり新年度が始まりました。

新会員を確保し7月末までには13名となる予定です。少人数のクラブではありますが、出席率の高さ、そして全会員参加のクラブ運営を行っており、居心地の良いクラブです。



今年度は、横須賀西ロータリークラブ伝統の奉仕活動を開催する予定です。7月には春光学園ビーチパーティー、9月には献血活動、2月にはロータリーデー清掃活動、4月には第14回チャリティーコンサートをおこないます。また年4回の早朝例会＆親睦ゴルフ、年3回の夜間例会に12月のクリスマス家族会と5月末の最終移動例会の旅行をおこないます。

本年度は横須賀西ロータリークラブ本来の奉仕活動＆親睦活動に力を入れていき、笑顔の絶えないアットホームなクラブを取り戻します。

チャーターメンバーにもご意見を聞きながらクラブを運営してまいります。



横須賀南西ロータリークラブ

会長 菱沼正喜

横須賀南西ロータリークラブは1977年5月29日に創立しました。スポンサークラブは横須賀ロータリークラブです。我がクラブで使用している郵便封筒には「ペリー黒船艦隊来航」のデザインが描かれており、例会場もペリー上陸を記念して作られた「ペリー公園」や、フランス人技術者ヴェルニーの指導により建設された日本最古の洋式灯台である「観音崎灯台」に近い所に位置しております。我がクラブは少数メンバーで構成されていますが、創立以来アットホームなクラブであると自負しております。



今年度は早々に数名の新会員が入会され会員一同心機一転、まずは会員増強活動に力を入れて取り組みたいと考えております。

また、コロナ禍前においては、盲導犬普及の啓発運動や地元高校生の協力を得て行う県立観音崎公園一斉清掃等を行っておりましたが、コロナによるマスク生活を余儀なくされてからは静止状態となっていました。今年度は地域の皆様のためになる活動を再開させ、全会員で頑張っていく所存です。



新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



やまもと しげあき
山本 茂昭

- ①相模原柴胡
- ②2021.12.13
- ③保険代理店業
- ④澁谷憲明、
山口誠志



よこやま けいすけ
横山 佳右

- ①小田原
- ②2022.03.07
- ③金融事業
- ④大田和俊彦、
穂坂 肇



よしだ かずのり
吉田 一紀

- ①相模原南
- ②2022.03.08
- ③銀行
- ④一ノ瀬 裕、
鈴木昌彦



ふたみ しげる
二見 茂

- ①寒川
- ②2022.03.22
- ③信用金庫
- ④三澤京子



なかむら ただし
中村 正

- ①鎌倉中央
- ②2022.04.01
- ③金融業
- ④山田 嗣



ふるた ようじ
古田 羊司

- ①イバーシングートウェイ湘南
- ②2022.06.01
- ③建設業
- ④古田昌也



さおとめ あゆみ
早乙女 あゆみ

- ①鎌倉中央
- ②2022.06.06
- ③美容業
- ④橋本はづき



たかつか そのみ
高塚 菜美

- ①鎌倉中央
- ②2022.06.06
- ③コンサルティング業
- ④橋本はづき



ひらさわ なおこ
平澤 直子

- ①鎌倉中央
- ②2022.06.06
- ③会社員
- ④橋本はづき

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



田中 豪
①茅ヶ崎
②2022. 06. 09
③コインパーク
ング事業
④伊藤和明



菱山 友久
①津久井中央
②2022. 06. 09
③建設業
④水野 茂



永井 信年
①横須賀
②2022. 06. 17
③建設業
④大野忠之



和田 恵里
①小田原中
②2022. 06. 30
③ホテル業
④田中裕子



瓜生 勝彦
①横須賀南西
②2022. 07. 01
③測量業
④海老原 平



金子 信博
①横須賀南西
②2022. 07. 01
③医療・介護事業
④海老原 平



片野 弓子
①座間
②2022. 07. 01
③税理事務所
④矢部雅文



細野 若菜
①座間
②2022. 07. 01
③生命保険
④渡 潤、
溝渕信一、
山田和彦



松下 貴幾
①座間
②2022. 07. 01
③生命保険損害保険
④磯部芳彦、
鈴木義隆



石丸 博久
①寒川
②2022. 07. 04
③建築建材販売
④中村光良



吉野谷 岳
①海老名
②2022. 07. 04
③建設業
④見方雅教



竹ノ谷 雅人
①綾瀬
②2022. 07. 05
③鋼板加工販売
④松原政次、
平本康雄



石田 尚久
①小田原城北
②2022. 07. 05
③金融事業
④大谷 宏



丸山 静世
①津久井中央
②2022. 07. 07
③行政書士
④森田正紀



戸嶋 優一
①藤沢南
②2022. 07. 11
③飲食業
④永松秀行



足立 康也
①藤沢南
②2022. 07. 11
③製造業
④木本己樹彥、
後藤康太



迎 隆一朗
①座間
②2022. 07. 20
③プラスチック
製品製造業
④今井 均



横山 裕美
①藤沢南
②2022. 07. 18
③建設業
④松長由美絵



茂手木 祐介
①相模原
②2022. 07. 21
③レジャー施設
④早川 優

第2780地区 2022年6月末 会員数

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

*2022~2023 Governor
Yuichiro Sato*

2022～2023年度ガバナー 佐藤 祐一郎

■OFFICE/Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel:+81-466-25-8855
Fax:+81-466-25-8866



IMAGINE ROTARY

■事務所 / 〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel : 0466-25-8855
Fax : 0466-25-8866
E-mail : g-office@rid2780.gr.jp
URL : <https://rid2780.gr.jp>